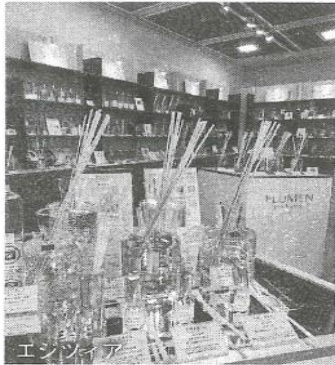


大同

2017年秋冬展示会 日本初上陸のフレグランスなどお披露目

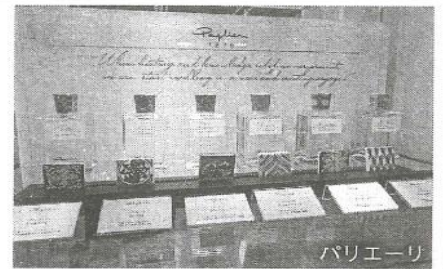
バス・トイレタリーカテゴリの専門商社である大同(東京都中央区)は4月4日、6日の3日間、日本橋プラザで「DAIDO 2017年秋冬展示会」を開催。日本初上陸を果たすホームフレグランスをはじめ、バス・トイレタリーグッズ、インテリア小物、ホームウェアなどの秋冬コレクションをお披露目した。

世界のラグジュアリーホテルや高級百貨店などで展開されるフレグランスやスキンケアブランドを厳選して輸入販売している同社。なかでも今回の注目は、日本初上陸となるイタリアのグラスデコロシオンブランド「エジツィア」のホームフレグランスコレクション。「エジツィア」は1949年にイタリア、トスカーナで伝統的なシルクスクリーンプリント技術によりエレガントな装飾品をつくるグラスデコロシオンの会社として誕生。02年にはパオラ・ナヴォーネをアートディレクターに迎え、スタイリッシュでコンテンポラリーなデザインコレクションへ進化。イタリアを代表するブランドの1つとして、欧米各国を中心に高い評価を得ている。



エジツィア

今回、同ブランドのホームフレグランスコレクションから、ルームディフューザーを日本で発売。美しい装飾が施されたデザインボトルとフ



パリエーリ

レグランス(3種)をそれぞれ、好みに合わせて組み合わせることができるラインナップが特徴で、スプレー&ボトルシリーズ(デザイン6種類、各250ml・6000円(以下税抜)、デキャンタシリーズ(デザイン5種類・各500ml・2万円)、フレグランス(3種類、各250ml・5000円/500ml・9000円)を6月7日より直営セレクトショップB.d.Oほか、百貨店などで販売する。

フレグランスではその他、16年にイタリアで誕生したハイエンドなフレグランスコレクション「パリエーリ」から、シチリアやローマ、フィレン

ツェなど、イタリア各地で語り継がれる美しい芸術と伝統を香りでめぐるコレクションが日本初上陸を果たす。6種類のオールドパルファンは「アグリゲントウム」「アマルフィア」「ジェノヴァ」「ロマーネ」「フロンテア」「ベネチア」とラテン語でネーミングされ、品質の高い天然材料によるユニークでユニセクスの調香に仕上がっている。ボトルとキャップ、パッケージを彩るデザインは、アマルフィ海岸のマヨルカカイルやフィレンツェの包装紙の模様、ローマのモザイクや大理石など、各地の風景や文化などを表現。多彩な香りと美しいパッケージがイタリアの旅物語へ誘う。

同じく日本初上陸となる「フルーメン」は、02年に誕生したフレグランスブランド。気持ちや瞬間、思い出など、感情を伝えるような香りのコレクションが特徴で、フレグランスごとに別々のイタリア人調香師が担当し、それぞれ異なるアプローチで複雑に調

和した個性ある香りを生み出している。8種類のリードディフューザーは、香りごとに異なるカラーが楽しめるのも魅力で、見た目にも鮮やかなコレクションとなっている。

昨秋より日本で販売を開始したミラノ発のコスメとホームフレグランスのブランド「ロツケルベル」からは、幻のワインにインスピレーションを得た新シリーズ「クリントヘK LINT1817」が今秋登場。「ロツケルベル」は、コスメティックメーカーであるCOSVAL社がプロデュースするブランドのひとつで、イタリアンクラフトマンシップ

が息づく上質なデザインの製品群が魅力。本国ではコスメからホームフレグランスまで200種類以上のラインナップを揃え、ユニセクスの香りデザインは日本でも男女問わず好評を博している。新作の「クリントヘK LINT1817」は、19世紀のロツケルベルの物語からインスパイアされたコレクション。鮮やかなブドウのバイオレットカラーと、甘酸っぱいストロベリーのフレッシュさが特徴の果実味あふれるクリントワインの香りを再現したルームディフューザーやキャンドルなどを販売する。